クラウドファンディング成果報告書

「ピン・シャン・コロリ！　山口県の循環器予防とリハビリ支援プロジェクト」

支援者の皆様へ

本プロジェクトにご支援いただき、誠にありがとうございました。 皆様からの温かいご支援により、総額 **18,258,000 円（総支援者数 795 人）** という多大なご寄付を賜りました。厚く御礼申し上げます。

皆様から託された思いを胸に、この 1 年半の間、山口県の循環器病対策を一歩でも前進させるべく、全力で活動を続けてまいりました。本プロジェクトが掲げた「3 本の柱」に沿って、これまでの活動成果をご報告いたします。

---

1. 予防と早期発見：健康リテラシー向上による疾患予防および早期発見の推進

県民の皆様の健康リテラシーを向上させ、将来の健康リスクを予測しながら積極的に健康管理に取り組むための支援、そして検診体制の整備による早期発見を推進しました。

① **心腎代謝診療医認定制度の導入と啓発ポスターの作製** 専門分野の枠を超えたかかりつけ医との意識統一を図るため、「心腎代謝診療医認定制度」を導入しました。また、山口県と連携し、予防・治療・放置の代償を「青・黄色・赤」の 3 バージョンで表した啓発力の高い高血圧ポスターを作製し、県内のかかりつけ医へ送付しました。 ※【ご案内】2026 年 7 月 12 日（日）には、KDDI 維新ホールにて「世界高血圧の日 県民公開講座」を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

② **悲願達成！心電図検査の全県導入が決定** 心房細動は、脳梗塞や心不全、認知症の引き金となりますが、約半数が「無症状」であるため、心電図によるスクリーニングが極めて重要です。 私たちは、まず萩市・阿武町と長門市で 75 歳以上を対象とした後期高齢者特定健康診査に心電図検査を試験的に導入しました。また、市民公開講座等を通じた県民への啓発に加え、検査にためらいを感じる非専門医の先生方に向けた「対応フロー」の作成や「早期発見啓発セミナー」を実施しました。 **皆様のご支援が行政を動かす原動力となり、ついに令和 8 年度（2026 年度）より全県での心電図検査の導入が決定いたしました！** 今後は「受診券が届かない」といった制度上の課題解決や受診率向上に向けた取り組みを継続してまいります。なお、これら一連の活動は、日本循環器学会のシンポジウムでも取り上げられ、高く評価されています。

2. 医療体制を整える：ICT 活用による救急医療ネットワークの強化

一刻を争う救急時に迅速な医療を提供できるよう、救急車と医療機関間の情報共有システムの導入を進めました。

① **救急車内モニター転送システムの実装と検証** 山口大学発の技術を採用し、萩市と長門市の消防に各 1 台のシステム設置を完了しました。 このシステムは、救急車に搭載済みの 12 誘導心電計を活用できるため初期費用が抑えられ、現場の救急隊員の操作負担が少ないのが特長です。すでに各消防での通信状況や走行時の振動影響の確認を終えており、長門市では救

急車内の映像と心電図画像の伝送テストもトラブルなく完了しています。 今後は、萩市（2 病院）および長門市（3 病院）での医療従事者向け説明会を経て実際の運用検証に入り、将来的には山口県全体への実装を目指します。

3. 退院後も元気に：心臓リハビリテーション普及と質の向上

退院後も患者様が自立した生活を継続できるよう、心臓リハビリの普及とスタッフ育成、地域連携の強化に取り組みました。

① **アプリを活用した外来心リハ地域連携ネットワークの構築** 医療情報共有アプリ「LAVITA」を導入し、宇部・小野田地域において急性期病院、外来心リハ施設、かかりつけ医をつなぐ試みを進めています。昨年度は、山口大学病院をはじめ、外来心リハ 5 施設、かかりつけクリニック 7 施設が連携し、約 80 名の患者様にご参加いただきました。今年度は調剤薬局との連携も進め、双方向のコミュニケーションをさらに深めていきます。

② **メディカルスタッフの教育・育成（心不全療養指導士）** 心臓リハビリの質を担保するため、クラウドファンディングの資金を活用して「心不全療養指導士」の資格取得支援（受験費用のサポートや症例レポートの添削）を行いました。 昨年度は 9 名の受験を支援し、**見事 8 名が合格**を果たしました！（山口大学医学部附属病院 2 名、下関市立市民病院 1 名、済生会山口総合病院 2 名、萩市民病院 1 名、萩慈生病院 2 名）

③ **市民の皆様への啓蒙活動** 一方通行の講義ではなく、体験や対話を重視した啓蒙活動に注力しました。「心疾患予防法体験型の多職種ブース」や、専門医と気軽に話せる「ここだけの話」といった企画を展開し、のべ 700 名以上の市民の皆様にご参加いただきました。 ・令和 7 年 5 月：宇部新川市まつり（健康福引・健康漫談 / 参加 200 名）・令和 7 年 9 月：第 1 回宇部市民講座・多職種ブース（参加 185 名）・令和 7 年 11 月：山口大学病院感謝祭 健康相談ブース（参加 200 名）・令和 8 年 2 月：第 2 回宇部市民公開講座・多職種ブース（参加 120 名）

結びに この 1 年半、皆様からいただいたご支援を形にするため走り続けてまいりました。特に心電図検査の全県導入決定や、心不全療養指導士の増加は、山口県の未来の健康寿命を延ばすための大きな一歩となりました。

しかし、これはゴールではなく「スタート」です。実証事業で得られた成果を、山口県全域の恒久的な仕組みへと発展させていくため、引き続き関係各所と連携し、活動を継続してまいります。

山口県の循環器医療の未来を共に創ってくださった支援者の皆様に、改めて心より感謝申し上げます。引き続きのご支援・ご関心を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

山口大学医学部附属病院 第二内科 「ピン・シャン・コロリ！」プロジェクトチーム一同